

UP52N-150F-QED-D0

最大150 Wまでのレーザー出力測定用サーマルディテクタ。



主な特長

モジュール概念

お使いのディテクタのパワー能力を増加: 4つの異なる冷却モジュール

高い最大出力の拡散アブソーバー

高エネルギー密度のパルスビームに最適

コンパクトデザイン

厚さ116 mm

高平均出力

連続出力最大150 Wまで測定。

スマートインターフェース

すべての校正データを収容

互換性のあるスタンド

STAND-S-443

仕様

測定性能		
最大平均出力(連続)		150 W
最大平均出力(1分)		150 W
ノイズ等価出力 ¹		15 mW
スペクトル領域 ²		0.3 - 2.5 μm
標準上昇時間 ³		4 sec
標準出力感度 ⁴		0.06 mV/W
出力校正不確か率 ⁵		$\pm 2.5\%$
繰り返し性		$\pm 0.5\%$
<ol style="list-style-type: none"> 1. 公称値。実際値は測定システムの電氣的ノイズに応じて異なります。 2. このスペクトル領域は校正トレーサビリティを参照しています。 3. 予測付。 4. 100 kΩ負荷。最大出力電圧 = 感度 \times 最大出力。 5. 出力による線形性を含む。 		
測定性能(エネルギーモード)		
最大測定可能エネルギー ¹		1000 J
ノイズ等価エネルギー ²		0.25 J
最小繰り返し期間		9 s
最大パルス幅		371 ms
エネルギー校正不確か率 ³		$\pm 5\%$
<ol style="list-style-type: none"> 1. 360 μsパルス用。長パルス (ms) により高いパルスエネルギー、短パルス (ns) により低いパルスエネルギーが可能。 2. 公称値。実際値は測定システムの電氣的ノイズに応じて異なります。 3. 単発エネルギー校正をお求めの場合 		
損傷閾値		
最大平均出力密度 ¹		100 kW/cm ²
最大エネルギー密度 ²	1. 1064 nmで、10 W CW。 2. 1064 nmで、7 ns、10 Hz。	8 J/cm ²
物理的特徴		
開口直径		52 mm
吸収材		QED
寸法		92H x 92W x 117D mm
重量		1.41 kg